

まちかどニュース

身近なイベントや、まちかど
の話題を皆さんから募集してい
ます。

第21回子どもたちからの人権メッセージ発表会



9月13日、狛江エコーホール（狛江市元和泉一丁目）で、東京法務局府中支局・多摩東人権擁護委員協議会・構成13市主催の「第21回子どもたちからの人権メッセージ発表会」が開催されました。これは、多摩東地区の小学4～6年生を対象に、自分自身や友達の大切な人権を身近に感じることを目的として行われていきます。清瀬市からは、森谷真実さん（清小6年）が代表で発表しました。

平成26年度全国社会教育委員連合会長表彰受賞

10月23日、アステイトくしま（徳島県徳島市山城町東浜傍示）で、「第56回全国社会教育研究大会」が開催され、清瀬市からは、矢澤洋子さんが「平成26年度全国社会教育委員連合会長表彰」を受賞しました。この表彰は、社会教育委員連合の推進に特に貢献し、社教連の発展に功績のあった社会教育委員及び関係職員を表彰し、社会教育の振興に寄与することを目的とするものです。矢澤さんは、平成11年より清瀬市社会教育委員としての職を務めるとともに、平成17年11月より副議長、平成21年11月からは議長として現在に至っています。長年にわたり社会教育委員として市の社会教育に寄与し、行政と市民の橋渡し役として地域社会へ貢献している功績が評価され、表彰されました。

清瀬親善大使が市長を表敬訪問

10月23日、清瀬親善大使に新たに任命された方々が市長を表敬訪問しました。清瀬親善大使は、清瀬のことを広くPRするために誕生したボランティアの団体です。2014年の清瀬親善大使は、菅梨紗さん・鈴木奈々子さん・中澤愛美さん・濱中麗華さん・増元留夏さん・中川りささん・松崎弘実さん・柏瀬汐里さんの8人でスタートしました。今年度も、市内外の各イベントなどに参加する予定です。

青少年問題協議会第四地区委員会が感謝状を受賞

10月22日、東京都庁（新宿区西新宿二丁目）で、平成26年度東京都青少年健全育成功労者等表彰式が行われ、青少協第四地区委員会が外添都知事より感謝状を贈呈されました。同委員会は、小学一年生の下校時に保護者と地域のおとなが連携して子どもたちを自宅まで送り届ける活動や、通学路の危険箇所で見守る活動を通して、子どもを取り巻く地域の絆を深め、「心の東京革命」の推進に尽力された功績がたたえられました。

青少年の集いを開催

9月21日、七小体育館で、青少年問題協議会第二地区委員会主催の「青少年の集い」が行われました。当日は、三小4年生による組踊り「肝高の阿麻和利」や、市民団体ビックアップルによるダンス、二中吹奏楽部・清瀬高校吹奏楽部の演奏などが披露されました。また、校庭では昔遊びも行い、延べ46人の方にご参加いただきました。

投稿募集中 あなたも市報に参加しませんか

①キラリ☆スポット②まちかどニュース③清瀬こども俳句
応募方法 11月20日(必着)までに、①・②は写真(データが望ましい)に説明を添えて、住所・氏名・電話番号を記入し、郵送・持参・メールで秘書広報課へ、③は小・中学生対象で、はがきに俳句・住所・氏名・年齢・学校名・学年・電話番号を記入し、郵送または直接〒204-0021 元町1-2-11 生涯学習スポーツ課へ
※掲載にあたり、表現などを変える場合があります。
問合せ ①・②=秘書広報課広報広聴係 ☎ 497・1808、③=生涯学習スポーツ課 ☎ 495・7001

3本の木ととも

※今号の市長コラム「3本の木とともに」は、10月15日号の続きです。

3つ目のびつくりは、10月2日に、「聖徳太子」が市長室に来てくれたことです。鎌倉時代作の16歳の上宮太子像です。何でこんな極めて不思議な事が起こったか。きっかけは「悲田処」です。飛鳥奈良平安時代に聖徳太子や光明皇后が設置したと言われる、困窮者・飢病人を救うための悲田院の地方版は悲田処です。それが野塩地域市民センターあたりにあったからこそ、清瀬は医療福祉、世界を結核から守るまちになったのです。完璧な証拠はまだ出ていませんが、「清瀬には医療医学のシンボルである蛇が『ふせぎ』『結核研究所玄関のWHO(世界保健機関)のマーク』『水天宮日枝神社の藁の蛇』と3つ

飾られている。そして、聖徳太子の子どもの時のお名前をいただく『上宮病院』も清瀬にあった。こんな巡り合わせがぴったりと合うまちは他にはない。清瀬の医療福祉の原点は奈良時代あたりにある」などと言いまわっていました。上宮太子自らがおいでになってくれたのです。つまりは、所有者である上宮会が清瀬の市長室に置いた方が太子も喜ばれるだろうとしばしの間、貸してくださることになったのです。

先日いただいた、東京病院付属リハビリテーション学院同窓会「清始会」の記念誌には「びつくり」がたくさん書かれています。「リハビリ療法は結核の外科治療の効果から、日本では清瀬から始まりました。当時清瀬はちょうど、幕末の松下村塾のような感じで全国からそれぞれの希望を持ったものが集まって『清瀬リハ』は教員の留学制度や社会人入試などに常に時代の先端を

走っていた。『清瀬はリハの東大よ』。それが清瀬を目指すきっかけとなった。……」
はてさて地元としての清瀬市民は僕を含めて全く知らなかったことですか。「清瀬は困っている人や、病の人を助けてきた実に尊いまちだよ。やと分かったか。しかし、財政は大変だろうから応援に来たよ」ともしかししたら、清瀬の窮状も察してきて、皆で助け合おうと来ていただけか？ だから先日、誠意を持って対応していた職員が突然、刃物で脅されたけれども事なきを得たのに違いない。困っている人を太子と一緒に精一杯支えていきましょう。



清瀬市長

渋谷金太郎

市長室にある上宮太子像

清瀬市障害福祉計画策定委員会を開催

清瀬市第4期障害福祉計画の策定に向けて、清瀬市障害福祉計画策定委員会を開催します。
日時 11月19日(水)午前10時～正午
場所 コミュニティプラザひまわり
※傍聴される方(先着10人)は直接会場へ。
問合せ 障害福祉課障害福祉係 ☎ 497・2073

がんばりすと

清瀬商工会青年部が弁論大会で優勝

7月13日、東大和市市民会館ハミングホール(東大和市向原六丁目)で、「青年経営者の主張大会」(東京都大会)が開催されました。清瀬商工会青年部は、部員の森田雅人さんが、親善大使事業について「まちづくり」と「ひとづくり」の観点からの効果を発表し、顕彰部門(まちづくり部門)において優勝し、関東大会にも出場しました。

BMX JAPAN大会で桑野孝則さんが入賞

9月21日、土師ダムサイクリングターミナル(広島県安芸高田市八千代町土師)で、「全日本BMX大会」が行われ、JBMXFシリーズ15・16歳のクラスで市内在住の桑野孝則さんが3位に入賞しました。桑野さんは、11月に行われる伊豆の国際大会に向けて、「入賞して2020年の東京オリンピックに出場できるよう頑張りたい」と意気込んでいます。

第33回東京都乳牛共進会で入賞

10月25日、東京都農林総合研究センター(青梅市新町六丁目)で「第33回東京都乳牛共進会」が開催されました。ホルスタイン種未経産の部で、増田光紀さんが育成されている牛が、それぞれジュニアチャンピオンとジュニアリザーブチャンピオンを獲得し、ジュニアチャンピオンを獲得した牛は関東農政局長賞と東京都知事賞も受賞しました。



レースでの様子



増田光紀さん(右)と、ジュニアチャンピオンに選ばれた牛(左)、ジュニアリザーブチャンピオンに選ばれた牛(右から2番目)

犬の飼い主の皆さん、散歩のときはリードを付けましょう。フンは必ず持ち帰り、オシッコは水で流しましょう。